



## 技術仕様

この付録では、Cisco ASR 9000 Aggregation Services Router の仕様について説明します。  
次の表に、各仕様を示します。

- 表 A-1、「ASR 9010 ルータの物理仕様」
- 表 A-2、「ASR 9006 ルータの物理仕様」
- 表 A-3、「ASR 9010 の AC 電気仕様」
- 表 A-4、「ASR 9006 の AC 電気仕様」
- 表 A-5、「ASR 9010 の DC 電気仕様」
- 表 A-6、「ASR 9006 の DC 電気仕様」
- 表 A-7、「AC 入力電圧範囲」
- 表 A-8、「DC 入力電圧範囲」
- 表 A-9、「DC 出力レベル」
- 表 A-10、「Cisco ASR 9000 シリーズの環境仕様」
- 表 A-11、「RSP ポートの仕様」

表 A-1 に、Cisco ASR 9010 ルータの物理仕様を示します。

表 A-1 ASR 9010 ルータの物理仕様

説明	値
シャーシの高さ	36.75 インチ (93.35 cm)
シャーシの幅	17.50 インチ (44.45 cm) 19.0 インチ (48.3 cm) シャーシのラックマウント フランジと前面扉の幅を含む
シャーシの奥行	22.0 インチ (55.9 cm) 28.65 インチ (72.72 cm) ケーブルマネージャ システムと前面カバーを含む
シャーシの重量	
• シャーシだけ <sup>1</sup>	149.5 ポンド (67.81 kg)
• シャーシ：すべてのカード スロットと 6 基の電源モジュールを使用して完全に構成した場合	375 ポンド (170.5 kg)

1. シャーシだけの場合、カード、電源モジュール、ファントレイ、フィルタ、またはシャーシの付属品は含みません。

表 A-2 に、Cisco ASR 9006 ルータの物理仕様を示します。

**表 A-2 ASR 9006 ルータの物理仕様**

説明	値
シャーシの高さ	17.50 インチ (44.45 cm)
シャーシの幅	17.50 インチ (44.45 cm) 19.0 インチ (48.3 cm) シャーシのラックマウント フランジと前面扉の幅を含む
シャーシの奥行	22.0 インチ (55.9 cm) 28.65 インチ (72.72 cm) ケーブル マネージャ システムと前面カバーを含む
シャーシの重量	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシだけ<sup>1</sup></li> <li>• シャーシ：すべてのカード スロットと 3 基の電源モジュールを使用して完全に構成した場合</li> </ul>	87.5 ポンド (39.69 kg) 230 ポンド (104.33 kg)

1. シャーシだけの場合、カード、電源モジュール、ファントレイ、フィルタ、またはシャーシの付属品は含みません。

表 A-3 に、Cisco ASR 9010 ルータの AC 電気仕様を示します。

**表 A-3 ASR 9010 の AC 電気仕様**

説明	値
AC 入力電源の合計	AC 電源ごとに 3400 VA (ボルトアンペア) (システムごとに最大 6 基の AC 電源モジュール)
定格入力電圧 <sup>1</sup>	公称 200 ~ 240 VAC (範囲：180 ~ 264 VAC) 220 ~ 240 VAC (英国)
定格入力回線周波数 <sup>1</sup>	公称 50/60 Hz (範囲：47 ~ 63 Hz) 50/60 Hz (英国)
定格入力電流 <sup>1</sup>	200 VAC で最大 15 A 220 ~ 240 VRMS で最大 13 A (英国)
電源 AC の供給要件 <sup>1</sup>	20 A (北米)、16 A (その他の国)、13 A (英国)
冗長性	完全装備のシステムの 2N 冗長性には、最低 4 基の AC 電源モジュール (電源シェルフごとに 2 基) が必要

1. AC 電源モジュールごと



**注意**

シャーシ構成は、電力バジェットの要件を満たしている必要があります。構成を適切に検証していない場合、いずれかの電源ユニットに障害が発生したときに、予期しない状態が発生する可能性があります。サポートについては、製品を購入された代理店にお問い合わせください。

表 A-4 に、Cisco ASR 9006 ルータの AC 電気仕様を示します。

表 A-4 ASR 9006 の AC 電気仕様

説明	値
AC 入力電源の合計	AC 電源ごとに 3400 VA (ボルトアンペア) (システムごとに最大 3 基の AC 電源モジュール)
定格入力電圧 <sup>1</sup>	公称 200 ~ 240 VAC (範囲 : 180 ~ 264 VAC) 220 ~ 240 VAC (英国)
定格入力回線周波数 <sup>1</sup>	公称 50/60 Hz (範囲 : 47 ~ 63 Hz) 50/60 Hz (英国)
定格入力電流 <sup>1</sup>	200 VAC で最大 15 A 220 ~ 240 VRMS で最大 13 A (英国)
電源 AC の供給要件 <sup>1</sup>	20 A (北米)、16 A (その他の国)、13 A (英国)
冗長性	完全装備のシステムの N+1 冗長性には、最低 3 基の AC 電源モジュールが必要

1. AC 電源モジュールごと

表 A-5 に、Cisco ASR 9010 ルータの DC 電気仕様を示します。

表 A-5 ASR 9010 の DC 電気仕様

説明	値
DC 入力電源の合計	DC 電源モジュールごとに 2300 W (システムごとに最大 6 基の DC 電源モジュール)
定格入力電圧 <sup>1</sup>	公称 -48 VDC (北米) 公称 -60 VDC (欧州) (範囲 : -40.5 ~ -72 VDC (5 ミリ秒ごとに -75 VDC))
定格入力電流 <sup>1</sup>	各モジュールへの単一入力で最大 41 A (システムにモジュールが 5 基ある場合、最大でシステム電力 7360 W、出力電力 -54 VDC を供給)
電源 DC の供給要件 <sup>1</sup>	定格入力電流を供給できること (各地域の基準を適用)
冗長性	完全装備のシステムの N+1 冗長性には、(各電源シェルフに) 最低 3 基の DC 電源モジュールが必要

1. DC 電源モジュールごと

表 A-6 に、Cisco ASR 9006 ルータの DC 電気仕様を示します。

**表 A-6 ASR 9006 の DC 電気仕様**

説明	値
DC 入力電源の合計	DC 電源モジュールごとに 2300 W (2100 W 出力モジュール) (システムごとに最大 3 基の DC 電源モジュール)  DC 電源モジュールごとに 1700 W (1500 W 出力モジュール) (システムごとに最大 3 基の DC 電源モジュール)
定格入力電圧 <sup>1</sup>	公称 -48 VDC (北米) 公称 -60 VDC (欧州) (範囲: -40.5 ~ -72 VDC (5 ミリ秒ごとに -75 VDC))
定格入力電流 <sup>1</sup>	各モジュールへの単一入力で最大 41 A (システムにモジュールが 3 基ある場合、最大でシステム電力 7360 W、出力電力 -54 VDC を供給)
電源 DC の供給要件 <sup>1</sup>	定格入力電流を供給できること (各地域の基準を適用)
冗長性	完全装備のシステムの N+1 冗長性には、最低 3 基の DC 電源モジュールが必要

1. DC 電源モジュールごと

表 A-7 に、AC 電源の Cisco ASR 9000 シリーズ ルータの AC 入力電圧範囲を示します (単相電力)。

**表 A-7 AC 入力電圧範囲**

範囲	最小	最小 (公称)	公称	最大 (公称)	最大
入力電圧	180 VAC	200 VAC	220 VAC	240 VAC	264 VAC
回線周波数	47 Hz	50 Hz	50/60 Hz	60 Hz	63 Hz

表 A-8 に、DC 電源の Cisco ASR 9000 シリーズ ルータの DC 入力電圧範囲を示します。

**表 A-8 DC 入力電圧範囲**

範囲	最小	公称	最大
入力電圧	40 VDC	48 VDC	72 VDC

表 A-9 に、AC または DC の電源モジュールにおける DC 出力許容差を示します。

表 A-9 DC 出力レベル

パラメータ	値
<b>電圧</b>	
最大	-54.5 VDC
公称	-54.0 VDC
最小	-53.5 VDC
<b>電力</b>	
最小 (電源モジュール 1 基)	2100 W
最大 (単一のシェルフ内に電源モジュール 3 基)	6300 W (Cisco ASR 9006 ルータだけ)
最大 (電源モジュールを 3 基備えたシェルフが 2 つ)	12,600 W (Cisco ASR 9010 ルータだけ) <sup>1</sup>

1. 電源システムでサポート可能な最大出力電力 (システムの電源消費ではありません)

表 A-10 に、Cisco ASR 9000 シリーズ ルータの環境仕様を示します。

表 A-10 Cisco ASR 9000 シリーズの環境仕様

説明	値
動作温度	41 ~ 104 °F (5 ~ 40 °C)
動作温度 (短期間) <sup>1</sup>	23 ~ 131°F (-5 ~ 55 °C) <sup>2</sup>
保管温度	-4 ~ 149 °F (-20 ~ 65 °C)
湿度	動作時 : 10 ~ 85 % (結露しないこと) 保管時 : 5 ~ 95 % (結露しないこと)
高度	動作時 : 0 ~ 13,000 フィート (0 ~ 4,000 m) 保管時 : 0 ~ 15,000 フィート (0 ~ 4,570 m)
消費電力 (Cisco ASR 9010 ルータ)	最大 7600 W
消費電力 (Cisco ASR 9006 ルータ)	最大 4556 W
音響ノイズ	80.6 °F (27 °C) で 78 dB (最大)
衝撃	動作時 (正弦波の半周期) : 21 インチ/秒 (0.53 m/秒) 保管時 (台形パルス) : 20 G <sup>3</sup> 、52 インチ/秒 (1.32 m/秒)
振動	動作時 : 0.35 Grms <sup>4</sup> (3 ~ 500 Hz) 保管時 : 1.0 Grms (3 ~ 500 Hz)

1. 短期間とは、連続で 96 時間未満、1 年間の合計が 15 日未満を意味しています (1 年間の合計は 360 時間になりますが、年間で 15 回以上発生してはいけません)。

2. GLC-GE-100FX SFP トランシーバ モジュールを使用する 40 ポートのギガビットイーサネット ラインカードがルータに取り付けられている場合、ルータの動作温度仕様は、この表に記載されている温度と異なります。これは、SFP モジュールの温度仕様の方が低いからです。詳細については、シスコの営業担当者にお問い合わせください。
3. G は加速度の値です。1G は 32.17 フィート/秒<sup>2</sup> (9.81 m/秒<sup>2</sup>) です。
4. Grms は、加速度の二乗平均です。

表 A-11 に、RSP ポートの仕様を示します。

**表 A-11 RSP ポートの仕様**

説明	値
コンソール ポート	EIA/TIA-232 RJ-45 インターフェイス、9600 ボー、8 データ、パリティなし、1 ストップ ビット、ソフトウェア ハンドシェイク方式 (デフォルト)
補助ポート	EIA/TIA-232 RJ-45 インターフェイス、9600 ボー、8 データ、パリティなし、1 ストップ ビット、ソフトウェア ハンドシェイク方式 (デフォルト)
管理ポート (0、1)	トリプルスPEED (10M/100M/1000M) RJ-45
同期ポート (0、1)	次のいずれかに構成可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Building Integrated Timing System (BITS; ビルディング総合タイミングシステム) ポート</li> <li>• J.211 または Universal Timing Interface (UTI) ポート</li> </ul>